

COVID-19
新型コロナウイルス
関連情報

人気記事ランキング

週間	月間
----	----



新型コロナ既感染者におけるワクチンの効果
医療一般

1



ベシエントハラスメントが5年で20%も増!?どんな対策して…
医療一般

2



新型コロナ感染の高齢者、32%が後遺症を発症/ BMJ ジャーナル四天王

3



オミクロン株に対するコロナ治療薬の効果を比較検証/ NEJM
医療一般 日本発エビデンス

4



60歳以上への交互接種 vs. 同種接種、感染率・重症化率は/ JAMA
医療一般

5



オミクロン株、ブースター接種後の感染例を分析/ Lancet
医療一般

6



医学部入試差別が解消しても、解決しない女性医師の「二重負担…裏側から木曜日」

7



白衣高血圧者にどう対応する? ガイドラインで明記されたこと一目でわかる診療ビフォーアフター

8



行政や官公庁はなぜ気づかない!? 国民がワクチン3回目接種した…バズった金曜日

9



オンライン? 現地? 学会参加状況と今年の開催希望/ 会員医師ア…
医療一般

10

医師閲覧ランキング



中立的な臨床医学動画
世界最大医学メディアの
医師生涯教育
今すぐチェック



乳がん診療 Frontline
CareNet × 日本経団連

認知症患者に対するベンゾジアゼピン、Z薬の使用

提供元：ケアネット



ツイート

いいね！ 0

公開日：2022/02/24

世界中のガイドラインにおいて、認知症のBPSDや不眠の治療に対し、ベンゾジアゼピンやZ薬などのベンゾジアゼピン受容体アゴニスト（BZRA）の使用が制限下で推奨されている。オランダ・Center for Specialized Geriatric CareのDirk O. C. Rijksen氏らは、認知症ナースিংホームの入居者に対するBZRAの使用率と適切性についての評価を行った。Journal of Alzheimer's Disease Reports誌2021年12月9日号の報告。



2016～18年に実施した向精神薬使用に関する2つの介入研究より、BZRA使用に関して事後分析を実施した。対象は、24のオランダ介護組織の認知症特別ケアユニットに入居している患者1,111例。継続的および頓服のBZRAの使用率と患者の症状との関連を評価した。継続的なBZRA使用の適切性（適応症、投与量、投与期間、認知症や睡眠障害の治療ガイドラインに準じた評価）について評価した。

主な結果は以下のとおり。

- ・BZRAの使用率は39.2%（95%信頼区間[CI]：36.3～42.0）、そのうち継続的な使用は22.9%、頓服使用は16.3%であった。
- ・継続的なBZRA使用患者における適応症は、抗不安薬としての使用19.0%、睡眠薬としての使用44.8%であった。
- ・不適切な適応に対するBZRAの使用は、攻撃性/興奮に対する抗不安薬の使用（継続的：75.7%、頓服：40.3%）、夜間の興奮に対する睡眠薬の使用（継続的：40.3%、頓服：26.7%）であった。
- ・適切な適応症に対する継続的なBZRA使用は、他のすべての項目については適切に使用されていなかった。
- ・ほとんどの使用において、評価期間および使用期間は4週間超であった。

著者らは「BZRAは、認知症ナースিংホームの入居者に対して頻繁に使用されていた。使用されていた患者の大部分は、ガイドラインに従っておらず、推奨期間を超えて使用されており、タイムリーな評価が行われていなかった。エビデンスに基づくガイドラインと日常診療との不一致を考慮すると、不適切なBZRA使用の要因を明らかにするための調査が求められる」としている。

（鷹野 敦夫）

原著論文はこちら

[Rijksen DOC. et al. J Alzheimers Dis Rep. 2021;5:871-879.](#)

掲載内容はケアネットの見解を述べるものではありません。（すべての写真・図表等の無断転載を禁じます。）

関連記事



慢性不眠症患者のベンゾジアゼピン中止に対する意思決定ツールの受容性

医療一般 日本発エビデンス（2022/01/28）

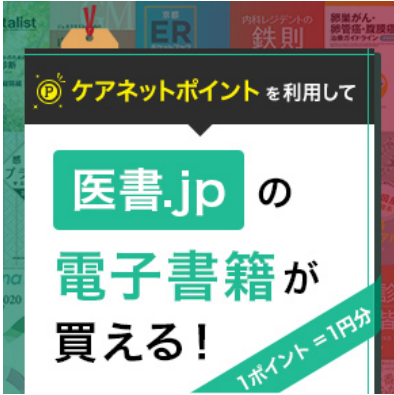


ベンゾジアゼピンやZ薬と認知症リスク

医療一般（2020/02/10）

認知症まとめ【クローズアップ！精神神経 7疾患】

クローズアップ！精神神経 7疾患（2021/01/26）



ケアネットポイントを利用して

医書.jp の
電子書籍が
買える！
1ポイント=1円分



Apple
Gift Card
新たに
交換可能